

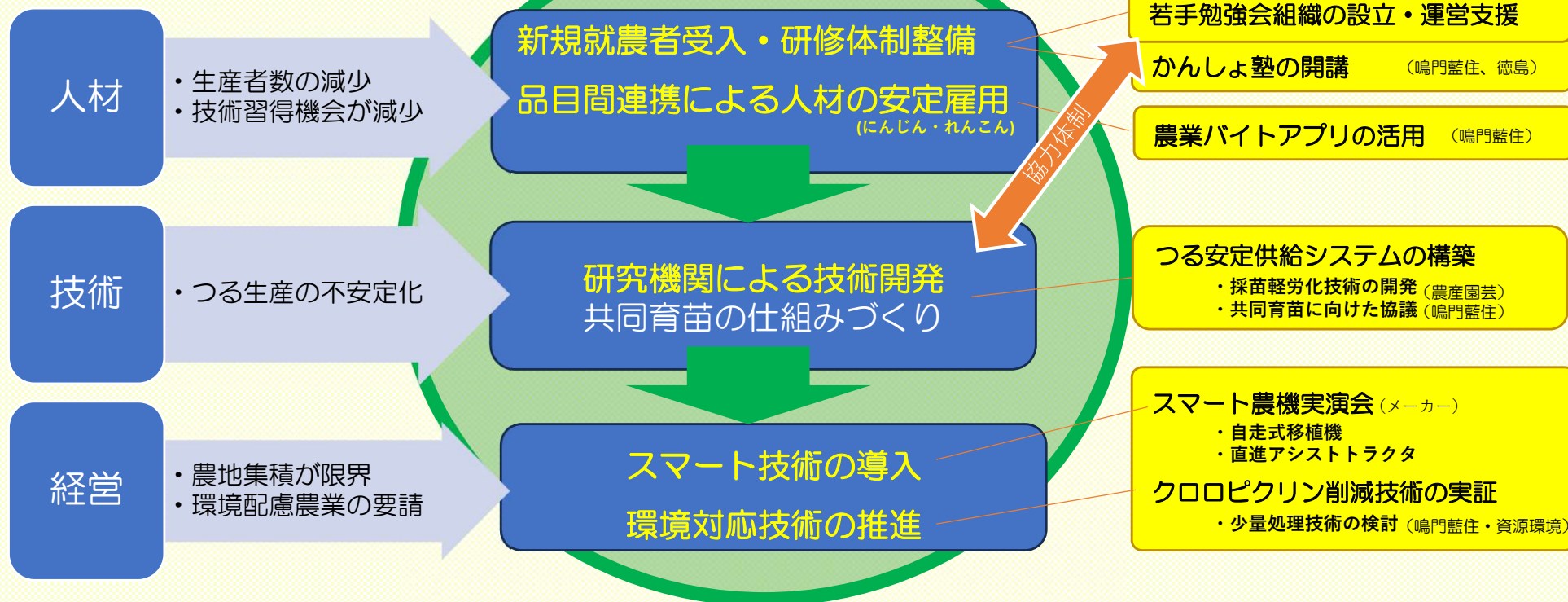
目的

将来、かんしょの栽培の中核を担う若手農家の技術力向上、産地間連携を進めるとともに、栽培上の課題である省力化、つる安定供給システムの確立と普及を進め、力強い産地づくりを行っていく。

かんしょ産地の問題点

課題解決に向けて

具体的な支援策



目指すべき姿

なると金時栽培農家が安心して経営を続けられる環境を整備

- 自主運営できる勉強会組織が設立され、県研究機関等と連携しながら技術レベルが向上していく体制が整備されている。
- 品目間で連携して、労働人材の流動的運用が出来る仕組みづくりが進む。
- 現場課題に対応した技術開発が進み、良品づくりに専念できる農家が増加する。
- スマート農業機械の導入が進み、省力化、低コスト化が図られる。



(成果目標) 勉強会組織の結成 1 団体 ピクリン使用量を3割減(R12) スマート農機の普及30戸